

社会資本総合整備計画

きたおおかわら
北大河原地区 都市再生整備計画

事後評価シート

きょうとふ みなみやましるむら
京都府 南山城村

平成30年5月

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成30年5月15日

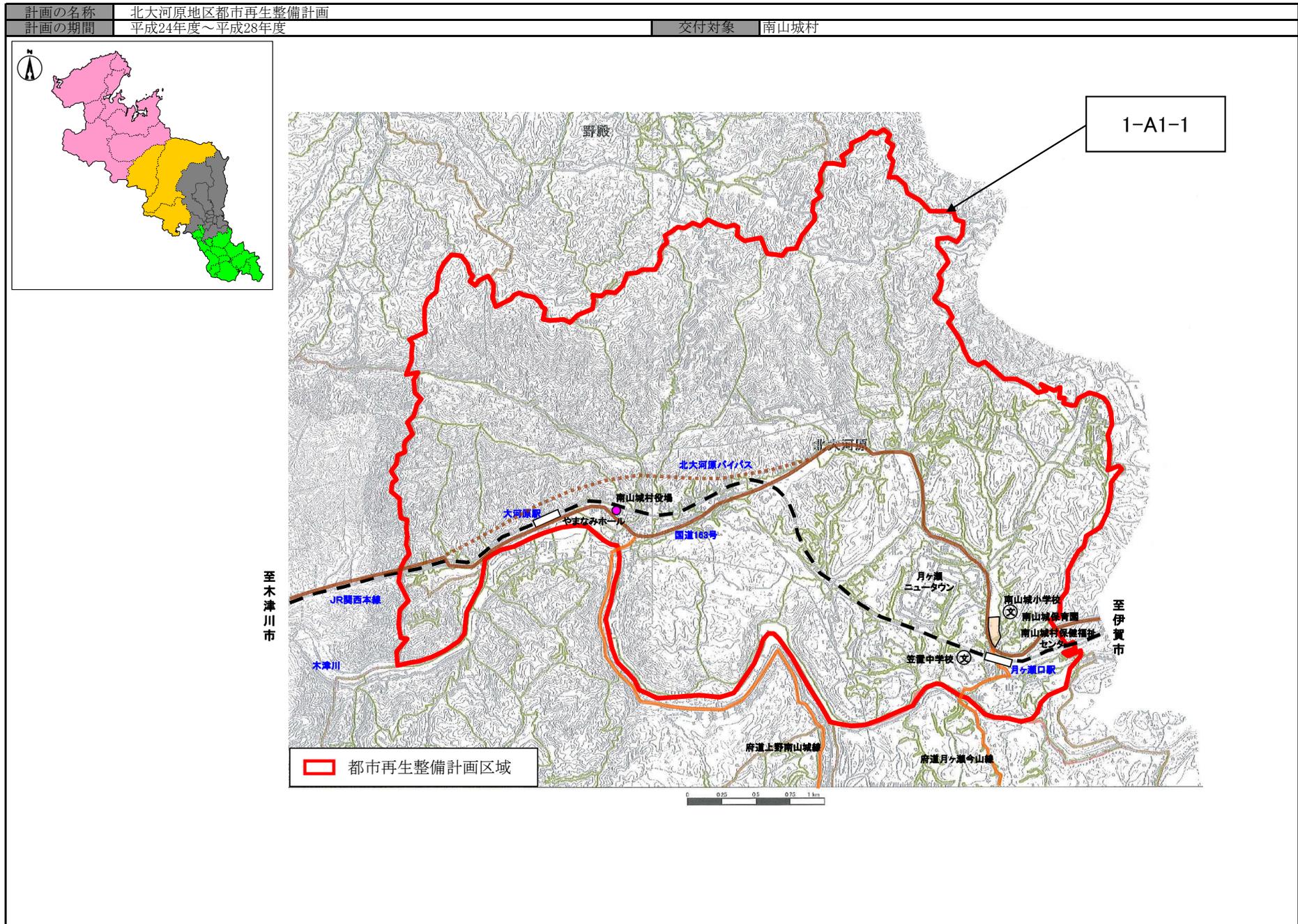
事後評価の評価体制	公表の方法
担当部局により評価を実施	南山城村ホームページにて公表

計画の名称	北大河原地区都市再生整備計画									
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度 (5年間)	交付対象	京都府京丹波町							
計画の目標	「村で暮らし続ける」ために必要な交流とふれあいの拠点づくり									
計画の成果目標 (定量的指標)	① 年間交流人口 ② 南山城産商品数 ③ イベント開催回数									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (計画策定時)	中間目標値 (-)	最終目標値 (H26末)				
① 村内各施設への年間来場者数 (千人/年)				46	-	50				
② 南山城村の農産物を使った商品の開発 (品)				0	-	30				
③ イベントの開催回数 (回/年)				5	-	10				
全体事業費	合計 (A+B+C)	453 百万円	A	453 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
施行全体事業費	合計 (A+B+C)	439 百万円	A	439 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

1. 交付対象事業の進捗状況															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-A1-1	都市再生	一般	南山城村	直接	南山城村	北大河原地区都市再生整備計画事業	区域面積 A=1,430ha	南山城村						453	
														412	
合計												453	412		
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
														0	
合計												0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
														0	
合計												0			
その他関連する事業															
計画等の名称	事業種別	交付対象	要素となる事業名				市町村名						全体事業費 (百万円)	備考	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 事業計画全体の目標達成状況		<p>「村で暮らし続ける」ために必要な交流とふれあいの拠点として整備を実施した。整備の結果、年間332,717人（平成29年）の来場があり交流人口の拡大、地域情報の発信に大きく貢献したほか、特産品、地元産農林産物を原材料とした商品の開発により農林業の振興及び地域雇用創出により「村で暮らし続けるために必要な仕組み」が確立し地域活性化が図られた。</p>			
II 定量的指標の達成状況	指標① 年間交流人口 (千人/年)	最終目標値	50	目標値と実績値 に差が出た要因	施設整備により想定以上の来場者があり、年間交流人口が拡大したため。
		最終実績値	382		
	指標② 南山城産商品 数(品)	最終目標値	30	目標値と実績値 に差が出た要因	施設整備に合わせて特産品及び地元産農林産物を原材料とした地域特産品を開発する仕組みやノウハウを学んだ結果、想定以上の商品化が実現したため。
		最終実績値	39		
	指標③ イベントの開 催回数(回/ 年)	最終目標値	10	目標値と実績値 に差が出た要因	商品開発や運営ノウハウを学ぶWSを進めた結果、地域住民が自主的にイベントを開催することとなった結果、想定以上のイベントを開催できたため。
		最終実績値	14		
III 定量的指標以外の交付対象事業の発現状況(必要に応じて記述)		<p>・WS等の開催により、世代間を越えた地域交流や移住者との連携が生まれた。結果、商品開発や地域のブランド化が図られ地域が活性化した。</p>			
3. 特記事項(今後の方針等)					
<p>地域情報、特産品PR情報を発信し続けることで継続的な交流人口を維持するとともに地域イベント開催等で当施設から各地域へ来訪者を呼び込む仕組みづくりに取り組む。商品の開発や地域ブランドのデザイン化により農業や地域産業の振興を維持する。</p>					

(参考図面) 社会資本総合整備計画



1-A1-1

都市再生整備計画区域